

## 朝鮮語現代ソウル方言における-jang-i・-jaeng-iの考察

竹原 彩乃

(東アジア課程朝鮮語専攻)

キーワード：朝鮮語，名詞派生接尾辞，-jang-i，-jaeng-i

### 0. はじめに

朝鮮語<sup>1</sup>には人を表す名詞派生接尾辞が数多く存在するが、そのうちの、固有語の接尾辞の中に-jang-i (-장이)、-jaeng-i (-쟁이)(-jang-i が i 逆行同化<sup>2</sup>した語形)というものがある。用例としては、それぞれ대장장이 daejang-jang-i「鍛冶屋」、개구쟁이 gaegu-jaeng-i「いたずらっこ」などが挙げられる。大韓民国文化観光部が1988年に公布した『標準語規定』には、技術者には-jang-i、それ以外には-jaeng-iを接続した語形を標準語とすると記されているが、-jang-i と -jaeng-i を比較した先行研究はなく、使用の実態は明らかではない。

本研究の目的は、現代ソウル方言における-jang-i・-jaeng-iの使用実態を調査することを通して、-jang-i と -jaeng-i の性質を明らかにすることである。

本稿では、大韓民国国立国語院のホームページ上にあるローマ字変換機<sup>3</sup>を用いてハングルを転写する。用例の和訳、例文の番号、グロスは筆者による。

### 1. 先行研究

#### 1.1. 崔鶴根 (1959)

崔鶴根 (1959: 325-327)は、『雅言覺非 卷之三<sup>4</sup>』の記述を根拠とし、官妓を意味する人間名詞である「玆伊(jai)」 「尺」 「jai」などが現今の方言における「-jai」・「-jang-i」・「-jaeng-i」などの原形であることは間違いないと述べている。なお、「尺」は高麗時代、新羅時代から使用されていたということは吏讀<sup>5</sup>の他の記録から十分に推測でき、また、-jang-i は-jai が母音接続により-ngを挿入した語形であると述べている。

#### 1.2. 김영선(1996)

김영선(1996)は、最近では、-kkun、-kkuleogi、-jang-i (-jaeng-i)の場合、それ自体が語彙化して使用される例が見られると主張し、次のような例を挙げて説明している。なお、以下、-jang-i・-jaeng-iを名詞化して単独で用いる場合は、接尾辞との混同を避けるため JANG-I・JAENG-I のように大文字で表す。

<sup>1</sup> 本稿では、大韓民国の標準語の基礎となっている現代ソウル方言のことを指す。

<sup>2</sup> 後ろに来る母音'i'や'j'の影響により、そのまえの母音 a, eo, o, u などが ae, e, oe, wi に変わる現象。(中略)i 逆行同化が反映された語形は標準語として認められていないが、ulchang-i→ulchaeng-i (おたまじゃくし)のように歴史的に i 逆行同化が反映された語形が固定化したものは標準語として認められている (이익섭 2006: 93)。

<sup>3</sup> 大韓民国文化観光部告示 2000-8 号 (2000.7.7)に従う。

<sup>4</sup> 朝鮮時代の学者である丁若鏞による語源の研究書。1819年に出版され、全3巻からなる。

<sup>5</sup> 新羅時代の後期から、漢字の音と訓を借りて朝鮮語を記すのに使った表記方法、またはその文字。

(1) 철수는 그 방면의 쟁인데 그것을 못 고칠라고

cheolsu-neun geu bangmyeon-ui **JAENG-I**-nde geugeos-eul mos gochi-lla -go  
チョルス.top その方面.gen **JAENG-I**.前置き それ.acc 不可能 直す.反語.quot  
「チョルス(男性名)はその方面の **JAENG-I** なのに、それを直せないはずはないと」

(김영선 1996: 31)

「その方面の **JAENG-I** なのに直せないはずはない」という表現から、ここで **JAENG-I** は何らかの技術を持った人をあらわしていると考えられる。

### 1. 3. 先行研究の問題点

先行研究の問題点は、-jang-i と -jaeng-i の使い分けについての調査や機能の詳述がなされていないことである。この点を明らかにしていく必要があると筆者は考える。

## 2. 調査方法

本稿では、以下の2点について調査を行う。

- ・ -jang-i と -jaeng-i の使用実態と使い分け
- ・ JANG-I と JAENG-I の意味

前者は21世紀世宗コーパス (以下21世紀コーパス)を用いて -jang-i ・ -jaeng-i の機能の分類・分析を行なった上で韓国の検索サイト NAVER を用い使い分けの傾向を探り、後者はコーパスで収集した用例と母語話者へのアンケートを用いて調査するという方法をとる。なお、本稿で名詞分類を行う際には、野間秀樹(1990)に従って分類する。ひとつの名詞が複数の範疇に当てはまる場合もあるので、これ以降の表などではその分類の両方を表示する。

## 3. 調査結果

本稿では、21世紀コーパスの書き言葉コーパスの全ジャンル(900万語を収録)、純話し言葉・準話し言葉コーパスの全ジャンル(50万語ずつ計100万語を収録)から -jang-i と -jaeng-i を含むものを検索し、用例を計量的・意味的な側面から分析した。以下、その結果を記す。

### 3. 1. -jang-i と -jaeng-i の使用実態・使い分けに関する調査

まず、コーパス調査で収集した用例にどのようなものがあつたのか、-jang-i と -jaeng-i を用いたものをそれぞれ1例ずつ紹介する。

(2) 인형극 선생님의 손은 마치 요술장이의 손과도 같았다.

inhyeonggeug seonsaengnim-ui son-eun machi **yosul-jang-i**-ui son-gwa-do gat-ass-da.  
人形劇 先生.gen 手.top まるでマジシャン.gen 手.~と.~も 同じ.past  
「人形劇の先生の手はまるでマジシャンの手のようにだった。」

(体験記述的テキスト<sup>6</sup> 한국수필진흥연구회 1994 수필공원 94 봄)

- (3) 소심하고 부끄럼쟁이인 나로서는 학교란 곳이 고통스러워지기 시작했다.  
 sosimha-go bukkeuleom-jaeng-i-in na-loseo-neun haggyo-lan gos-i  
 気が小さい~して 恥ずかしがり屋.cop 1.sg.~として.top 学校.quot 場所.nom  
 gotongseuleowoji-gi sijaghaessda.  
 苦痛だ.~になる.nmlz 始める.past  
 「気が小さくて恥ずかしがり屋の私は、学校という場所が苦痛になり始めた。」  
 (体験記述的テキスト 박완서 1990 가을에 만난 사람)

### 3.1.1. 計量的分析

調査では、ソウル以外の地方の方言が含まれている用例も得られたが、本研究では取り扱わなかった。方言を除外する作業は主に筆者が辞書等を参考にして行い、必要に応じて朝鮮語母語話者に協力してもらった。方言の用例数は、書き言葉コーパスの-jang-i で 1 例、-jaeng-i で 43 例あったが、話し言葉コーパスには見られなかった。

ここでは、①-jang-i と-jaeng-i の出現頻度の比較、②話し言葉と書き言葉の出現頻度の比較、③語根となる品詞の種類と割合、④-jang-i と-jaeng-i の異なり語数の比較、⑤用例の年代別分析、⑥テキストの分野別の考察の 6 つに分けて考察を行っていく。

表 1 は話し言葉・書き言葉別の-jang-i・-jaeng-i それぞれの出現頻度・異なり語数を表したものである。

表 1: 出現頻度 (書き言葉コーパス/話し言葉コーパス)

	出現頻度
-jang-i	71/4
-jaeng-i	196/23
計	294

#### ① -jang-i と-jaeng-i の出現頻度の比較

表 1 より、話し言葉でも書き言葉でも-jang-i より-jaeng-i の方が優勢であり、特に話し言葉においては-jang-i があまり用いられず-jaeng-i が優勢だということがわかった。

#### ② 話し言葉と書き言葉の出現頻度の比較

21 世紀コーパスの収録語数を考慮し<sup>7</sup>、話し言葉コーパスの出現頻度を 9 倍にして考えてみると、-jaeng-i に関しては話し言葉コーパスと書き言葉コーパスに大きな差はない一方、-jang-i を見てみると、書き言葉コーパスの出現頻度は話し言葉コーパスの倍である。よっ

<sup>6</sup> 21 世紀コーパスの説明書によると、英語では documentary と書かれている。

<sup>7</sup> 書き言葉コーパスが 900 万語、話し言葉コーパスが 100 万語 (純・準話し言葉が 50 万語ずつ)である。

て、-jaeng-i は話し言葉と書き言葉での出現頻度はあまり変わらないが、-jang-i は話し言葉よりも書き言葉でより多く用いられる傾向があると言える。

### ③ 語根となる品詞の種類と割合

하치근 (1985: 188)によれば、-jang-i・-jaeng-i は名詞・不具語根・副詞に接続するとのことであるが、今回の調査結果では副詞はみられなかった。しかし、形容詞の語幹「sileobs (sileobsda「不真面目である」の語幹)」が 1 例見られた。それぞれの品詞の出現頻度は、名詞が 103 例、不具語根が 3 例、形容詞語幹が 1 例であった。

### ④ -jang-i と -jaeng-i の異なり語数の比較

表 2: -jang-i・-jaeng-i の異なり語数

	異なり語数
-jang-i	44
-jaeng-i	84
全体	108

-jang-i は一種類の語根が平均 1.7 回、-jaeng-i は 2.61 回使われている。今回は、計量的には-jang-i のほうに語根の多様性が見られたという結果になったが、21 世紀コーパスにおける話し言葉コーパスの占める割合が少なかったため、話し言葉の用例をより多く収集すれば、異なり語数においても-jjaeng-i が優勢であるという結果が出ると考えられる。

### ⑤ 用例の年代別分析 (詳述は省略)

-jaeng-i についてはコーパスに収録されているテキスト全体の年代比率と大きな差はなかったが、-jang-i は標準語規定が交付される 1989 年以前の用例が多い。ここから、書き言葉における-jjaeng-i の使用に抵抗がなくなってきたということが読み取れる。

### ⑥ テキストの分野別の考察 (詳述は省略)

-jang-i も -jaeng-i も、体験記述的テキストや想像的テキストのような、話し言葉が多く用いられるテキストに多く含まれているが、新聞のように書き言葉の性格が強いものや、自然科学などのジャンルにはあまり使われていなかった。

## 3. 1. 2. 意味の側面からの分析

ここではコーパスで収集した用例を意味の側面から分析していく。まず、コーパスから収集した用例は次の 3 種類に分けることができる。なお、ここでいう=(イコール)とは、「ニュアンスの違いを伴うこともあるが、同じ対象を指す」という意味で用いている。

- ① 語根となっている語 (名詞)=語根+ -jang-i・-jaeng-i
- ② 語根となっている語 (名詞、不具語根、形容詞の語幹)≠語幹+ -jang-i・-jaeng-i

③ 語幹なし(-jang-i・-jaeng-iを名詞として用いる場合)

③については3.2節で扱うため、ここでは①と②を順にみていく。

① 語根となっている語(名詞)=語根+ -jang-i・-jaeng-i

①は、daejang(鍛冶屋)=daejang-jang-i「鍛冶屋」となるような用例を指す。これにあたるものは語幹の異なり語数108のうち13例あった。この13例(語幹+ -jang-i・-jaeng-iの形態)をさらに、野間秀樹(1990)の名詞分類表にしたがって分類すると、人間名詞・具体名詞・抽象名詞・場所名詞の4種類に分類できる。それぞれ以下のような例がある。

人間名詞: daejang(鍛冶屋)-jang-i「鍛冶屋」 具体名詞: balmog(足首)-jaeng-i「足首」

抽象名詞: guseog(隅)-jaeng-i「隅」 場所・抽象名詞: mog(要所)-jaeng-i「要所」

母語話者(ともにソウル出身の20代・40代の女性一名ずつ)に、語根を単独で用いた場合と-jang-iを付した場合とのニュアンスの違いを尋ねたところ、共に balmog-jang-i「足首」と言う語は聞いたことがないが、語根を卑下するニュアンスがあり、公式な場所では使わない表現であると指摘した。また、guseog-jang-i「隅」については、「聞いたことはあるが、おばさんが使う言葉と言うイメージ」(20代女性)、「市場で物を売っているようなおばさんが言うような感じ」(40代女性)とのことであった。

② 語根となっている語(名詞、不具語根、形容詞の語幹)≠語幹+ -jang-i・-jaeng-i

これも、人間名詞と動物名詞の2つに分類できる。数の少ないものから考察していく。

<語根+ -jang-i/-jaeng-iが動物名詞となるもの>

動物名詞には gileum(油)-jaeng-i「シマドジョウ」と sogum(塩)-jaeng-i「アメンボ」<sup>8</sup>の2種類があった。これらは、-jaeng-iが接続することにより語根の名詞と関係のない動物名詞を派生している例である。

<語根+ -jang-i/-jaeng-iが人間名詞となるもの>

人間名詞となる場合の-jang-iおよび-jaeng-iの機能と、用例は以下のように分類できる。

I <語根>に関係のある職業についている、及び<語根>に関係のある技術を持った人(42例) badug(囲碁)-jaeng-iのように、「囲碁のプロ」「囲碁が好きな人」のどちらの意味でも使えるものはIに分類した。

Jeom(占い)-jaeng-i「占い師」、onggi(陶磁器)-jang-i「陶磁器職人」

II <語根>の表す性質・特徴・趣味・習慣などをもった人(28例)

ganan(貧乏)-jaeng-i「貧乏な人」、wolgeub(月給)-jaeng-i「月給取り」

III <語根>+leul(eul) bulida「(語根の意味する行動・性質などを)あらわに示す」の性質を持った人(13例)

<sup>8</sup> gileum-jang-iには「油に関する商売をしている人」、sogum-jang-iには「塩に関する商売をしている人」ととれる例文も1例ずつあらわれた。

yogsim (欲)-jaeng-i 「欲張り」、bukkeuleom (恥ずかしがること)-jaeng-i 「恥ずかしがり屋」

IV <語根>のマニア、中毒者 (3 例)

apyeon (阿片)-jang-i 「阿片中毒者」、hiloppong (ヒロポン(覚せい剤))-jaeng-i 「ヒロポン中毒者」

V <語根>を信仰している人 (2 例)

yesu(イエス・キリスト)-jaeng-i 「キリスト教徒」、cheonjuhag (天主教)-jaeng-i 「天主教徒」

I が 42 例と最も多いが、ともに性質や特徴を表す用例を含む II と III を合計すると 41 例となり、I とほぼ同数である。-jang-i・-jaeng-i は人間名詞を派生する場合、主として職業・技術・性質・特徴の意味を、また、数は少ないが信仰や中毒の意味を添えるといえる。

### 3. 1. 3. 検索サイト NAVER による調査

紙幅の都合上、ここではこの調査で明らかになったことを簡単にまとめるのみとする。

- -jang-i よりも-jaeng-i を使う傾向のある語根が多い。
- 接尾辞「-jang (場・長など)」に接続する名詞語根には、同音異義語が多くなってしまうため、-jang-i より-jaeng-i を多く使うことが考えられる。
- かたい意味の語や、あまり使わない語が語根となるときは-jang-i を付した形が残っているが、日常的なくだけた意味の語根には-jaeng-i を用いる方が多くなっている。

### 3. 2. JANG-I と JAENG-I の意味に関する調査

21 世紀コーパスからは 3 つの用例を収集したが、本稿では一つのみ紹介する。

- (4) 요즘 언론이 예전에 비해 가짓수도 늘어나고 다들 활발하게 움직이고 있으나 신규 창간지들은 아직 꺅이 기질이 부족한 것 같아요.

yojeum eonlon-i yejeon-e bihae gajis-su-do neul-eonago dadeul

この頃 メディア.nom 以前.~に 比べる.~して 種類.数.も 増える.~して みな

hwalbalhage umjig-igo iss-euna singyu changganjideul-eun ajig

活発に 動く.prog.逆接 新規 創刊誌.pl.top まだ

**JAENG-I** gijil-i bujoghan geos gat-a-yo.

JAENG-I 気質.nom 不足している もの 同じだ

「この頃、メディアが以前に比べて種類も増えて皆活発に動いているけれど、新規の創刊誌はまだ JAENG-I の気質が足りないようです。」

(純話し言葉 김재춘외 1990 『동아일보 90 년 죄담기사』)

例文(4)は新聞記者の座談会を記事としたものである。この発話において、JAENG-I はプラスイメージの語であり、JAENG-I の気質とは「職人氣質」「専門家としての気質」を指していると考えられる。なお、卒業論文で扱った例文には JANG-I が明らかにマイナスイメージの語として用いられているものもあった。母語話者(40 代、女性)によれば、JANG-I・JAENG-I のように用いる場合は技術者や職業についている人を示しているとのことである。

また、18名の朝鮮語母語話者<sup>9</sup>に例文(1)と(4)を一部改変<sup>10</sup>し、それぞれJAENG-Iの部分にJANG-Iに書き換えたものを見てもらい、文中でJANG-I・JAENG-Iの表わす意味を答えてもらった。その結果、明らかになったことを以下にまとめる。

- 名詞として使われるときは人間名詞だが、プラス・マイナスイメージはある程度文脈に左右されると考えられる。
- インフォーマントは、JANG-Iは技術者や専門家など職業的な意味として捉えていることが多いが、JAENG-Iの場合は職業的な意味以外にも、「いい意味でも悪い意味でも何らかの分野に精通していて上手である、またはそれを好んでいる人」とJANG-Iよりも広い意味で捉えられている。しかし、JANG-IとJAENG-Iのとらえ方に大きな差はなかった。

#### 4. まとめと今後の課題

これまで本稿で分析してきた内容をまとめると、以下のようになる。

表 3: 分析のまとめ

	-jang-i/-jaeng-i
品詞	①名詞派生接尾辞 ②名詞
接続	名詞/不具語根/形容詞の語幹/擬態語などの副詞に接続する。
機能	<p>① 名詞派生接尾辞…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 語根となる語＝語根＋-jang-i・-jaeng-iとなる場合 語根に接続して、語根の名詞にニュアンスを加える。</li> <li>● 語根となる語≠語根＋-jang-i・-jaeng-iとなる場合 語根に接続して、人間名詞を中心とした名詞を派生する。語根の性質や語根と関係のある職業についている人という意味を付加することが多いが、中毒や信仰などの意味を添えることもある。</li> </ul> <p>② 名詞…主に職業的な意味を持った「人」を表す人間名詞である。</p>
使用の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・-jang-iも-jaeng-iも、書き言葉コーパスの中でも、硬い表現の多いものより話し言葉の要素の強いジャンルのテキストでよく用いられる。</li> <li>・-jang-iは主に書き言葉で使われ、話し言葉ではあまり用いられない。</li> <li>・-jaeng-iは書き言葉でも話し言葉でも同程度用いられる。</li> </ul>
接続する語根の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硬い意味の語やあまり日常的でないものでは-jang-iを用いる形態が残っているが、それ以外の語根では-jaeng-iを用いることが多い</li> <li>・-jang-iは接尾辞「-jang(場・長など)」を接続する語根にはつきにくい。</li> <li>・-jaeng-iは様々な意味を持った語根に広く用いられる。コーパス調査で収集したほとんどの語根に対して、-jang-iより優勢である。</li> </ul>

<sup>9</sup> 言語形成期をソウルで過ごした18～30歳の男性11名、女性7名に2008年の8～11月にかけて実施。

<sup>10</sup> 「新規の創刊誌」など、JAENG-I(JANG-I)の意味を答える上でヒントとなりうる部分を「彼」に変えるなどの変更をおこなった。

今回の調査を通して、先行研究では行っていなかった-jang-i・-jaeng-iの機能や使用実態の記述や JANG-I・JAENG-Iの調査を試みることができたが、とくに-jang-i・-jaeng-iのもつニュアンスについての調査が不十分であった。また、ソウル以外の方言についての調査や十分なアンケート調査等ができなかった点は課題として残った。今後はより多くの用例を収集し、-jang-i・-jaeng-iの性質をさらに調査していく必要がある。

#### 略号一覧

1: 1人称	neg: 否定	prog: 進行
acc: 対格	nmlz: 名詞化	quot: 引用
cop: コピュラ	nom: 主格	sg: 単数
dat: 与格	past: 過去	top: 主題
gen: 属格	pl: 複数	

#### 参考文献・資料・コーパス

##### ・朝鮮語で書かれたもの

- 김영선 (1996) 「국어 인칭접미사 연구 -국어사전의 고유어 인칭접미사를 중심으로-」 전북대학교 대학원 학위논문
- 대한민국 문교부(1988) 「표준어 규정」
- 이익섭 (2006) 『국어학 개설』 서울: 학연사
- 崔鶴根 (1959) 『國語方言學序論』 서울: 精研社
- 하치근 (1985) 「국어 인칭접미사 연구」『東亞大學校國語國文學科 國語國文學論文集 第6輯』(1986/10) pp.171-194

##### ・日本語で書かれたもの

- 野間秀樹 (1990) 「朝鮮語の名詞分類—語彙論・文法論のために—」朝鮮学会編『朝鮮学報 第136輯』(1990/4)
- 安田吉実 (1968) 「済州島における接尾辞「-아기, -아지, -장이, -아치, -마치」の考察」朝鮮学会編『朝鮮学報 第48号』pp.79-102

##### ・ホームページ

- 국립국어원 (國立國語院) [http://www.korean.go.kr/08\\_new/index.jsp](http://www.korean.go.kr/08_new/index.jsp) (2008/11/13)
- NAVER <http://naver.com> (2008/10/22、2008/11/23)

##### ・コーパス

- 21세기 세종계획 현대국어 말뭉치(21世紀世宗計画現代國語コーパス)